

筑後の郷 地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営			1 ~ 5 (自己 1~24・外部 1~14)	自己評価24項目・外部評価14項目	15	
理念に基づく運営	1 理念の共有(自己 1~3・外部 1~2)			自己評価3項目・外部評価2項目	3	
	1 理念の共有	1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	新しく地域に重点をおいた理念に作り直した。	1	「やさしい笑顔と謙虚な姿勢地域の方と支えあい穏やかな日々を送れるよう思いやりの心で接します。」の理念を毎朝唱和して意識を高めている。
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、理念を唱和して実践できるよう努めている。	1	今後も継続して行きたい。
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族には、月1回のひまわり便りにひまわり3号館の理念を記載した物を配布、リビングにも掲示し、いつでも誰でも見ていただけるようにしている。	1	理念の記載されたひまわり館便りを地域にも配布して理解していただけるよう努めて行きたい。
	2 地域との支え合い(自己 4~6・外部 3)			自己評価3項目・外部評価1項目	3	
	2 地域との支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	回覧板を回して頂いたり、道路愛護に参加し交流に努めている。また、ふれあい交流会には、地域に案内状を配布し、参加していただいている。近隣の散歩時には、挨拶や声かけを行っている。果物や野菜等の頂き物がある。	1	積極的に近所や、地域行事に出かけ地域の人々に理解していただけるように努力していきたい。気軽に立ち寄りいただけるような環境を検討して行きたい。
5 外部評価3		地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	年2回の道路愛護に参加している。また、小学校の運動会の見学に行き、地域の方々と交流を深めた。秋の文化祭には、入居者の方々と一緒に作った作品を出品した。地域の小学校に雑巾とお手玉を寄贈した。地域の中学校の体験学習の受け入れを行った。	1	地域行事には今後も積極的に参加していきたい。雑巾やお手玉を入居者と作成し、市内の他の小学校にも寄贈し交流を深めて行きたい。地域の行事、活動を把握し参加可能なものに関しては参加できるよう検討して行きたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 合 この	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域会合の時支援できることがあれば協力したいことを伝えている。しかしなかなか馴染めない。ホーム行事のふれあい交流会に認知症の理解を深めてもらう為パンフレットを配布した。	1	地域の高齢者のお役に立つことがないか話し合い検討し今後も続けて行きたい。
	3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)		自己評価5項目・外部評価4項目	5	
	3 理念を実践するための制度の理解と活用	7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員で外部評価について取り組み、また自己評価についても全員で行っている。しかし、職員全員が同レベルで理解していない。	1	同じ目線で改善の必要な部分に対し具体案の検討や実践に繋げるよう努力して行きたい。
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議での情報や意見を取り入れサービスの向上に繋げている。全員参加したいが業務上参加が出来ない。	1	参加者からの情報を職員全体で共有し取り組んでいくように検討が必要。
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の介護部会からの呼びかけで他の施設見学に参加したり、また勉強会や研修等にも参加している。運営推進会議にも参加、快く相談にも関わっている。	1	今後も気軽に相談しやすく、気兼ねなく出入りが出来るような関係にしていきたい。
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれを活用できるよう支援している	グループホーム部会の研修で取り組んだり、ユニットミーティング時、勉強会を行い理解を深めた。	1	全職員が活用出切るレベルまでには達していない。今後も研修会などに参加し理解を深め必要時に活用できるように努めたい。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	今年の勉強会のテーマに入っていなかったために学ぶ機会はなかったが、職員間で注意を払い防止に努めている。	1	高齢者虐待防止関連法について職員間で勉強会を行い、意識を高め常にお互いを注意しあって防止するように努めている。来年はテーマに入れて勉強会を行いたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	2	
理念に基づく運営	理念を 実践する ための 体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に契約書・重要事項説明書・個人保護法・看取り介護の説明を行い納得を得、同意書にサインを頂いている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の設置を行っている。職員に苦情担当者を設けている。利用者及び家族が意見を言いやすいような環境・関係作りを行っている。	1	意見箱の設置はしているが活用されたことはない。設置場所の検討、環境づくりの検討が必要
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回の近況報告・預り金の収支報告を家族宛に送付している。また、職員に異動はひまわり便りにて報告している。	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会にこられた時に、ご家族とコミュニケーションを図り、職員に気軽に不満を言えるような関係作りをしている。ご意見箱の設置を行っている。	1	意見箱の利用がないため、設置場所の検討をし、家族とよりよい関係が出来るよう努めて行きたい。
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	施設設備についてや利用者の環境が適切かなど話し合いを行っている。また職員が働き易い職場づくりに努めている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の精神状態や日常動作などで対応困難な場合は早出や居残り等で対応してきた。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4	18 外部 評価 10	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員に異動は最小限に行うように努めている。異動があった場合はひまわり館便りで報告している。	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	2	
	5	19 外部 評価 11	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	募集・採用に関しては法人総務課で行っている。採用後は快く受け入れ指導者を付け指導を行っている。また、法人が行う新人研修に参加してもらい早く職場に馴染めるように努めている。色々な資格を習得する為の機会を与えている。	1	認知症の実務研修や介護支援専門員の試験を受けている。今後も研修や資格習得などへの参加の機会を与えたい。
		20 外部 評価 12	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	自己研鑽を行ったりミーティングの時に注意しあい検討など行っている。市の人権学習に参加した。	1	研修などがあれば積極的な参加を心がけたい。
		21 外部 評価 13	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勤務の調整を行い研修の機会を設けたり、参加への働きかけを行っている。運営者は積極的に参加を働きかけている。	0	
		22 外部 評価 14	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会の勉強会に参加して理解を深めた。また、法人の介護事業部の行事を通じ交流を行っている。他のグループホームと相互訪問しサービスの質の向上に取り組んでいる。法人介護事業部の運動会に入居者と共に参加し交流を行った。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	業務終了時の雑談の時間を設けている。また犬の散歩や利用者や散歩をし、外気に触れる事でストレス解消を行っている。職員が働きやすいよう設備や環境を配慮している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	勤務の調整を行い研修の機会を設けたり、参加への働きかけを行っている。運営者は積極的に参加を働きかけている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	3	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から 利用に至る までの関係 づくりとそ の対応	1 25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学相談は入居前に受けている。生活歴・出来る事・出来ないこと・不安や困り事・何を希望されたいのかを聴き、ホームでの生活が円滑に送れるように努めている。	1	入居前に来所してもらい施設内の案内・説明を行い理解してもらっている。
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族から出来るだけ多くの情報を集め利用者が円滑に生活出来るよう対応してきた。	1	入居前に来所してもらい施設内の案内・説明を行い理解してもらっている。納得いくまで説明している。
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の要望に努めるが、事業所に対応出来ないときは他のサービスの紹介を行っている。	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験の受け入れ態勢は出来ているが、今まで希望者がなかった。	0	
		2 新たな関係 づくりとこ れまでの 関係継続 への支援	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者が得意とされていつ事を活かし取り入れスタッフも学んでいる。	0

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	現在の状況等の報告を行い、また面会時にも話しをしている。餅つきやふれあい交流会を行い、その機会に日常の暮らしや出来事を話している。家族会を開催したかったが出来なかった。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族と本人との間に入り、より良い関係が出来るように支援している。面会が少ないご家族には行事等に出席して頂けるよう声かけを行っている。	1	出席できない家族に対して話し合いを行い参加していただけるように努力していきたい。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前から利用している美容院に付き添っている。自宅へ同行し隣近所の知人の方と会話ができる機会を設けている。地域の祭り・行事の見学に行く。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者同士が顔をあわせ会話出来るようリビングに集まる機会を多くとっている。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他の施設に移られた後も訪問などを行い交流を持っている。	0	
		その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	2	
	1	35	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話や表情から情報を得るようにしている。意思疎通の困難な方には家族や関係者から情報を得ている。出切るだけ本人の希望を取り入れている。	1	どこまで本人の希望を取り入れるかを家族と相談しながら行って行きたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に家族から情報収集しアセスメントを行いサービスに役立てている。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	洗濯物たたみ・洗濯物干し・野菜の皮むき・食器洗い・掃除・裁縫・体操・手芸等出来る事への支援を行いながら現状の観察を行っている。	1	一人ひとりの生活のリズムを把握しスタッフ間でカンファレンスを行い共有している。
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	1		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族や本人の意見を反映したケアプランを作成し納得してサインを頂いている。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に見直しを行っている。期間前でも体調に応じ新たな計画を作成している。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活記録表を個別に記録して情報を共有し個別に対応している。記録の内容については十分ではない。	1	記録の内容や方法については研修会などに参加し検討していく必要がある。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人へ入院時には面会に行き、なじみのスタッフと顔を合わせる事により退院された時、ホームでの生活が円滑に送れるように対応している。洗濯物は施設で行い持参している。不穏時は自宅に同行し気持ちを和らげている。本人要望に応じ買い物に同行している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	4	本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	1	
			42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の方々や民生委員・小学校等に協力していただき各行事への参加を実施している。地域のボランティアに来ていただき歌や踊りなどを行っている。年2回消防署の協力を得て災害時の避難訓練を行なっている。	0	
			43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	個人の必要性に応じて他のサービス事業者と話し合い他のサービスを利用していただいた。	0	
			44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	意見交換会や勉強会に参加し関わりを持っている。また問題が発生した場合は相談し助言を受けている。	0	
			45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の要望に応じ医療機関を選択できるようにしている。受診時にはスタッフが付き添い状態を医療機関に報告している。受診後は家族に報告を行っている。	0	
			46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	精神科受診を行い医師と相談し適切な治療が受けられるようにしている。	0	
			47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護師と介護が協働して支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	定期的に本人への見舞いを行い、また医療機関と連絡を取り合い情報交換して早期退院できるよう努めている。	0	
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	状態に応じて対応できるようカンファレンスを行い話し合いを行い、また医療機関と連携し状態の変化に対応できるようにしている。終末期については、家族と連絡を行い対応については話し合いを行っている。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	カンファレンスで「出来る事・出来ないこと」の話し合いを行い、また医療機関と連携し状態の変化に対応できるようにしている。看取りにも備えている。終末期ケアの勉強会を行った。	1	職員一人ひとりが知識を高め施設内での介護が出来るよう研鑽を積んで行きたい。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人や家族、施設や関係者間で連携し情報交換を行い住み替えのダメージを最小限に出来るように努めている。使い慣れた家具などを持ち込んで頂き今までと同じように過ごせるように努めている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	16	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	14	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0		
		52 外部 評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人一人の特性を理解し、自尊心を傷つけないような言葉使いや対応を心がけている。記録の取り扱いについても個人情報を確保できるように実践している。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者との会話で思いを汲み取るように心がけている。意思疎通の出ない方も行動や表情から思いを汲み取り希望に添うように支援している。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部 評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームでのだいたいの1日の流れや行事など決定されていることもあるが、その中で一人ひとりのペースや希望を取り入れ生活できるように支援している。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	毛染めの希望者にはスタッフが対応し、支援している。また、本人の望む店へ理容に行けるよう付き添いを行っている。又、行事ごとや外出の際は、希望の服を着せたり、化粧などを行っている。	0	
		56 外部 評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	1日のメニュー表を利用者に掲示し、一人ひとりの希望を取り入れるように心がけている。また、利用者の状況に応じ食事の準備や片づけを行っている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	嗜好品は本人希望によりきらさないようにして日常的に楽しめるようにしている。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの排泄パターンを把握し、出来るだけ自力で排泄できるように支援している。	0	
		59 外部 評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は大体決めているが、時間帯は本人の希望を取り入れている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	前日の入眠状況・疲れ・気温等に配慮して支援している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	行事等の参加により気晴らしや季節を味わって頂けるように支援している。家庭菜園や犬との関わりが癒しとなっている。洗濯物を干したり、たたんだり、草取りなどを行うことにより役割えを果たしてもらっている。	1	生活暦や情報から趣味や楽しみごとを探し出し、楽しい日々が送れるよう援助が出来ることを期待したい。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小額の金銭管理が出来る方には、自己管理していただき、好きなものが購入できるよう支援している。時々買い物に出かけ、希望の物を購入してもらっている。高額のものに関しては、本人とよく相談して購入している。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は散歩に出かけたり、買い物に出かけたりと外出の機会を設けている。ドライブや施設周辺の散歩を実施している。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節に応じてその時期を楽しんでいただけるようにドライブなどで外出を実施している。家族との外出や外泊も積極的に受け入れている。	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望される所へスタッフがダイヤルし、本人と代わって話して頂いている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	訪問された時にお茶などをお出しし、気軽に訪問していただけるようにしている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	7	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会などを行い拘束をしない意識を高め、実践している。	1	さらに意識を高め実践して行きたい。	
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	誰でもが来所して頂けるよう開錠を目指していたが、離設があり家族の希望により現在は施錠している。	1	開錠についての取り組みについては、勉強会などを行い検討して行きたい。	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	所在は常に把握するように努め安全に配慮している。日中は、2時間毎に所在確認を行い、問題のある入居者に関しては、頻会に確認している。夜間は、2時間毎に巡視を行い安全に努めている。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	施設で使用する洗剤や漂白剤等は棚や戸棚に保管し入居者の目に触れないように努めている。理解できる方に関しては職員の管理の下安全に使用されている。	1	保管には十分注意をしているつもりだが、今後も意識を高め事故に繋がらないように取り組んで行きたい。	
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ミーティングの時ヒヤリハットの報告を行い情報を共有化し意識を高めている。年に2回防火訓練を行なっている。	1	ヒヤリハットレポートの提出や防災訓練を実施することによりさらに意識を高めて行きたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	法人が開催する研修会や消防署の研修を受けている。しかし、応急手当や、初期対応については研修が十分ではない。	1	研修会には積極的に参加したい。又、応急手当や初期対応については全職員がマスターできるよう勉強会の開催や、研修会への参加をしていきたい。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火訓練は年2回地元住民の協力を得行っているが、水害や地震に関しての訓練は行っていない。地域の方に確認し避難場所の確認はしている。	1	地震や水害時の対応については勉強会や対応策の検討が必要。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	転倒や誤嚥の可能性のある入居者の家族には連絡を取り状況の説明を行い対応策を検討している。入居者の加齢に伴いリスクも高くなってきた。	1	職員の知識をさらに高め家族への説明やケアプランに充実できるよう努めて行きたい。
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	6	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	普段の状況を把握し体調の変化がある場合は、申し送りや、カルテに記載し情報を共有するようにしている。又、主治医や訪問看護師と連絡を取り合い必要に応じ受診している。定期的にバイタルサインのチェックを行っている。	1	急変時や異変の早期発見については意識を高める為にもさらに勉強会への参加が必要。
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬に関しては説明書を受け取り確認しておりカルテに閉じている。又、服薬時に名前の確認を行い間違いがないよう努めている。	1	薬の効果や用法、用量については今後も勉強していく必要がある。
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	日頃より、繊維のある食品を取り入れたり、水分チェックや排便チェックを行い便秘予防に努めている。腹部マッサージを行い排泄し易いように支援している。又、体操や散歩をして体を動かすようにしている。	1	腹圧をかけることの理解が出来ない利用者や、排便困難な利用者もいるため今後も十分な観察を工夫して行く必要がある。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアを行っている。歯磨きや義歯の洗浄については職員が指導しているがなかなか理解が出来ない利用者もいる。夜間は職員が就寝前に洗浄剤に付け翌朝装着の指導を行っている。	1	口腔内の清潔に関しては技術を高めたり勉強会の検討が必要。	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の水分摂取量や食事の摂取量を記録し、毎月体重の測定を行っている。	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	入居者、職員に関しては季節性インフルエンザの予防接種は行っている。感染対策としてこまめに掃除を行い、手すりやドアノブは、塩素系で拭き上げている。法人研修会に参加し知識を高めている。	1	感染予防については常に新しい情報を取り入れていく必要がある。感染しないよう、蔓延しないようさらに知識や技術を高めていく必要がある。	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は常に新鮮な物を使用している。季節の食材を毎日購入し鮮度の高いものを提供するように努めている。食器類は乾燥機にかけ消毒している。まな板、布巾は毎日塩素系で消毒している。	1	食事の食べ残しの持ち帰りや、個人持ちの	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	2	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	2	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先にベンチを置きプランターに季節の花を植え飾っている。	1	家族の方や親戚の方々は見えるが近隣の方々がなかなか見えない。検討の必要がある。	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関の下駄箱には入居者と職員の履物を入れ出し易いようにしている。リビングには応接セットを置き、南側のベランダにはいつでも出やすいようにしている。トイレや浴室は車椅子でも出入り可能なスペースをとっている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファは誰もが利用できるようにしている。居室は、テレビ、エアコンを設置している。居室には個人の使い慣れた家具が持ち込めるようにスペースを設けている。	0		
		85 外部評価33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日、掃除の時間には換気を行い、必要に応じて室温調節を行っている。個人への来客時は必要に応じて椅子等を提供しお茶を出している。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	常に換気を行い空気のよどみがないようにしている。利用者の状況に応じ室温調節に努めていく。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレ、浴室には手すりを備え、危険になるようなものは置かないようにしている。手すりを使い自由に動けるようにしている。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室入り口には表札を掛けている。又、大きく名前を書いたものや、目印になるようなものを飾っている。トイレはかり易い言葉で書いたもので表示している。	0		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダにはいつでも出入り可能にしており、天気の良い日は日光浴をしたり、建物周囲や畑の草取りを皆で行っている。又、家庭菜園に季節の野菜栽培を行っている。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	2		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。